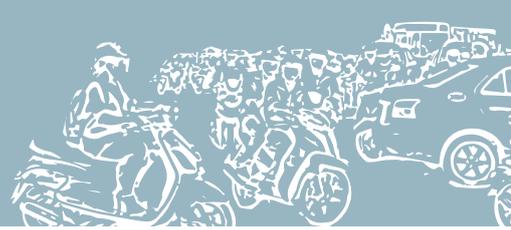


砂名の ベトナムに乾杯



第27回 ベトナムはトップ10から落ちてしまったが。日本酒の輸出金額

166%。

この数字が何だかお分かりでしょうか？

2021年「清酒(日本酒)輸出金額」の対前年比です。数量だと47%の伸びになります(財務省貿易統計より)。

- ・2021年1-12月の輸出金額は約1,147億円となり初めて1,000億円を突破。
- ・8月末で2020年の輸出金額(約710億円)を上回り、10年連続で過去最高を更新。
- ・品目別にはウイスキーや清酒が、国・地域別には中国やアメリカ、香港が輸出を牽引。

ひとえに蔵元さん、輸出入業者さん、海外拠点の販売店さん、応援して下さる皆様など、多くの方たちのたゆまぬ努力のおかげと感謝するとともに。当店、角打ち【日本酒で乾杯!】と【蔵 KURA】Kaku-Uchi & SAKE Shopも、その一端を担わせていただいているのだと、身が引き締まる思いです。

ところが一昨年タイ、フランスを抜いてトップテン入りしたベトナムが、昨年はトップテンから姿を消しました。トップテンから落ちた事実は、ホーチミン市内の5ヶ月半に渡る飲食店の営業停止に加えて、酒類提供の制限、ハノイやその他の地域での飲食店の営業停止の凄まじさを物語っています。日本酒を専門に販売している当店は、よく潰れなかったものだと、思い返すたびに冷や汗しか出ないので、昨年一年間の集計を取ったり、振り返るのをやめました。



【蔵 KURA】角打ちのリーチインショーケース。日本全国の蔵元さんの50銘柄以上を取り扱っております。酒屋では、あなたの好みに、料理に、合う日本酒をおすすめいたします。デリバリーも可能です。

2015年11月にオープンした角打ち【日本酒で乾杯!】は、翌年8月から売上が順調に伸びて、2020年3月、初めてのロックダウンまで4年間ずっと右肩上がり。2020年2月は過去最高の売上でした。月100本(720ml瓶)以上売り上げる月もあり、年間1,000本以上は販売していた勘定になります。

2020年のロックダウン解除後、四半期は苦戦を強いられましたが、お客様のおかげで、また元に戻ったか…に見えましたが。この頃を境に、日本に帰任される方が後を絶たなくなりました。すでに帰任が決まっておりました制限緩和のタイミングで帰国された方。日本人の駐在をやめた企業、廃業となった企業などさまざまですが。その傾向は、2021年のロックダウンでさらに顕著になりました。駐在日本人の数はコロナ前の半数近くに減少したとも聞きます。もちろん日本人だけでなく、韓国、欧米、ASEANの

人たち、みな同様です。

その一方で、昨年10月のロックダウン解除後は、入越して一年未満の方たちが続々と新規でご来店くださるようになりました。ウィズコロナに舵を切ったベトナムの勢いに乗って、私ももうひと踏ん張りもふた踏ん張りもしなくてはならないなど、決意も新たにいたしました。

ところで。日本国内における日本酒については、コロナ渦で激減した一昨年からさらに減り、2021年1-11月で出荷数量ベースが前年比96.35%の減少で、輸出の伸びと相殺しても国内清酒メーカーの総出荷数量はマイナスとなっているそうです。

確かにコロナ禍でイベントや試飲会、蔵元見学などは自粛モードですが、SNSやYouTubeなど見てみると、日本酒を担う若手や角打ちのある酒屋、日本酒ファンは増えているようにも見えます。

いずれにせよ、日本国内外で、これからはますます、盛り上げていきたいですね。



月森砂名(つきもりさな)

奈良県出身。同志社大学卒業。2015年、ベトナム初の角打ち【日本酒で乾杯!】に続き、2020年、Pham Viet Chanhにて日本酒専門の「角打ちのある酒屋」【蔵 KURA】をオープン。経営に携わる。東京で舞台撮影や制作の仕事をする傍ら、作家活動を行う。2009年よりNPO法人 Layer Boxにて、日本の伝統文化について、大学、高校、専門学校とともに、PV、3D、CGなどのコンテンツ制作および世界発信を行う。